

令和7年6月17日、島根中央高校において今年度第2回目の「高校生の林業学習」が実施されました。同校では将来の進路選択の情報収集と県央地域の基幹産業である林業を学ぶことを目的に林業学習に取り組まれています。

今回は林業現場を知るための見学会として、邑智郡森林組合の伐採現場や搬出された木材が集積される江の川木材共販市場で説明を受けました。

生徒の皆さんは伐採現場で活躍する高性能林業機械や伐倒作業を熱心に見学していました。

また、木材市場ではどのように市売りがされるのか、どのような木材に価値があるのか学んでいました。

今後、島根県立農林大学校の見学や地元の林業経営者の講義を予定されています。



邑智郡森林組合の伐採現場見学

2年生20名は機械化が進んでいる現場を見学し、現場職員から高性能林業機械の説明を受けていました



木材がどのように運び出されるのか見学でき、貴重な体験ができたとの感想がありました



江の川木材共販市場では、市にかけられる木材について説明を受けていました